

神戸製鋼・茨木工場

子どもや青少年が自然体験や野外活動を行うための施設へ、ダッチオーブンを寄贈

「市内在住家族対象のファミリーキャンプのご飯づくりプログラムで、ダッチオーブンを活用しました。通常のかまど調理よりも具材の芯まで火が通り、味が染み込んだ特別なカレーライスに参加者も感動されていました。今後もイベントで活用します」との言葉が寄せられました。

(総務室 坂田 匡史)



神戸製鋼・高砂製作所

市内児童公園へ、すべり台を寄贈



高砂市内の児童公園2カ所へすべり台を寄贈しました。3月27日に開催されたセレモニーには市長も出席され、青空のもと、子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿が印象的でした。市民の憩いの場である児童公園、このすべり台が地域の皆様に長く親しまれていくことを願っています。

(総務室 原 久幸)

神戸製鋼・神戸総合技術研究所

保育所へ、紙芝居、絵本を寄贈



保育所での紙芝居・絵本の贈呈式では、子どもたちがみんなで元気いっぱいに歌を歌ってくれ、その様子から喜んでもらえていることを実感することができました。紙芝居は、デジタル世代の子どもたちには逆に新鮮で大人気だのうれしい報告もいただきました。

(総務室 内田 和宏)

神戸製鋼・神戸本社

児童福祉施設へ、大型冷蔵庫、ベビーサークルを寄贈



「冷蔵庫は今までのものに比べ容量が大きく、使い勝手やデザインも良いので全職員から大好評です。ベビーサークルは職員が実際に使ってみると『思った以上に安心して保育がしやすい』という声が上がりました。子どもたちもサークル内で安心して遊んでいるように思います」とのお礼の言葉を受け取りました。

(コベルコ地域社会貢献基金 事務局)

神戸製鋼・西条工場

保育所へ、砂遊びセット、クライミングボード、カラーマット、造形キャビネットを寄贈

元気に遊ぶ子どもたちの様子を見学して、寄贈した遊具が日々の楽しさにつながっていることをうれしく感じています。遊びの中にあるたくさんの小さな“できた!”が、これからの成長を支えるものになればと思います。

(総務室 井上 真美)



神戸製鋼・藤沢事業所

藤沢市子どもの家(小学生向けの放課後の居場所)へ、ウレタンマットを寄贈

子どもたちが室内アスレチックで安全かつ安心して遊べるよう、クッション性のあるウレタンマットを寄贈しました。もう既に子どもたちに人気となっているようで、これからも怪我なく元気に過ごしてほしいと願っています。

(総務室 伊藤 俊太郎)



コベルコ地域社会貢献基金

2025年度の取組み紹介

コベルコ地域社会貢献基金は、2025年度で20年目を迎えました。神戸製鋼の創業100周年を記念して創設されたこの活動は、グループ企業理念「KOBELCOの6つの誓い」のうち、「地域社会との共生」を体現した活動として、今後も長きにわたって大切にしていきたい取組みです。

2025年度においても、未来を担う子どもたちを支援するため、15の事業所(グループ会社を含む)が子育て関連施設や団体に、遊具や学習道具等を寄贈しました。積極的に地域との共生を目指す活動へ取り組んだ各事業所・各社のコメントを紹介します。

コベルコ地域社会貢献基金の活動は、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標10「人や国の不平等をなくそう」の実現にもつながっています。



神戸製鋼・真岡製造所

真岡市内の全小中学校へ、落雷感知器およびLEDランタンを寄贈

真岡製造所がある栃木県は雷の発生が多く、児童・生徒の登下校や屋外活動における危険の回避や非常時に役立つものとして寄贈しました。支援先から「大変助かります。大切に活用させていただきます」との声をいただきました。

(総務室 宮本 勝広)



神戸製鋼・福知山工場

放課後等デイサービス(障がいのある子どもの放課後支援施設)へ、遊具を寄贈

「早速、寄贈いただいた遊具をサーキットでの粗大運動(体を大きく使う基本的な運動)に取り入れました。子どもたちも良い笑顔が出ていて、活動が終わってからも遊び続けていました。子どもたちのワクワクとドキドキと良い笑顔をくださりありがとうございました」との声を支援先からいただきました。

(総務室 新井 茂之)



神戸製鋼・加古川製鉄所

子育てプラザへ、木製遊具を寄贈

子どもたちが楽しく元気に遊べるように木製遊具を寄贈しました。同施設には、毎日、未就学児とその保護者が来館。いつもの広場に新しいすべり台を発見すると、子どもたちが集まってきて、元気に遊ぶ姿が見られるようです。

(総務室 大崎 和彦)



神戸製鋼・神戸線条工場

灘区)教育や子どもの居場所づくりに取り組む団体へ、ワークショップ材料や観測用備品を寄贈

東灘区)地域の事業者へ、冷凍庫、食器類、調理器具、学習スペース用品等を寄贈

子どもたちに居場所や交流の場を提供し、非日常的な体験を届ける活動を行っている地域の団体を支援することで、子どもたちの健やかな成長に関わることができたと感じています。団体様や子どもたちから感謝の言葉をいただけるこの活動を、心から誇りに思います。

(総務室 陣川 真也)



神戸製鋼・長府製造所

特別支援学校へ、
教室間仕切り用カーテン、
インテリアボックスを寄贈

特別支援学校に教室間仕切り用カーテンを設置しました。これは障がい特性に配慮したもので、カーテンの活用によって、刺激の軽減や情緒の安定、個別指導のための空間確保が可能となり、児童・生徒が安心して学習できる環境づくりにつながりました。

(総務室 崎原 成美)



神戸製鋼・大安製造所

いなべ市内の認定こども園・保育園へ、
木製のおもちゃ、ベビーチェアを寄贈



木育を推進されているいなべ市の認定こども園・保育園に、子どもたちが木のぬくもりを感じながら遊べる、木製のおもちゃを寄贈させていただきました。また、同市の母子保健事業に

ベビーチェアも寄贈させていただき、離乳食教室の場でもご活用いただいています。

(総務室 植村 始)

神鋼機器工業

地域巡回子ども食堂へ、炊飯器2台、
ポータブル洗濯機を寄贈

子どもたちのために地域巡回食堂として活動している団体へ、炊飯器、ポータブル洗濯機を寄贈。寄贈先からは「いただいた物品を大切に有効活用し、今後も大勢で食卓を囲むと楽しい! おいしい! と感じてもらえるような活動を続けていきます」とのお礼の言葉が寄せられました。

(企画管理部 前田 光春)



神鋼造機

児童館へ、ボードゲームや遊具等を寄贈

地域の未来を担う子どもたちがのびのびと遊び、仲間との関わりの中で豊かな感性を育める環境づくりに寄与し、また児童館を利用する子どもたちの新しい発見・成長のきっかけとなれば幸いです。

(総務・経理室 渡邊 智也)



CHECK! KOBELCOの ネオハルアクション

KOBELCOが取り組んでいる“地域に根を張る活動”＝「KOBELCOのネオハルアクション」。WEBサイトでもKOBELCOが取り組む社会貢献活動を紹介しています。ぜひチェックしてみてください。

ネオハルアクションの
WEBサイトはこちらから



コベルコ・コンプレッサ

障がい児支援団体へイベント用備品・
施設利用料等を寄贈
ボランティア団体へ、自然観察活動に
利用する双眼鏡等を寄贈



今回支援したボランティア団体は、播磨町内の小学生を対象とした環境教育や播磨町内の自然観察に継続して取り組まれています。ボランティアのメンバーには小学生時代に同団体主催の活動へ参加された方も多く、地域に根差した活動となっています。当社は今後も寄贈を通じ、応援していきたいと考えています。

(播磨総務部 榎村 方伸)